

西根・松尾地区中学校統合にかかる住民説明会

【日程】

開催日	会 場	時 間
11 月 18 日(月)	松尾中学校体育館	各会場とも 午後 6 時 30 分 ～7 時 30 分
11 月 20 日(水)	西根第一中学校体育館	
11 月 21 日(木)	西根中学校体育館	

… 次 第 …

1 開 会

2 あいさつ

3 説明内容

(1) これまでの経過及び今後の予定について

… 資料1

(2) 統合中学校建設候補地について

… 資料2-1.2.3.4

(3) その他(小学校の統合について)

4 その他

5 閉 会

1 検討方針

第3期八幡平市小中学校適正配置計画	計画期間:10ヶ年 (R4～R13)	八幡平市小中学校適正配置検討委員会を設置し「小中学校の適正規模・適正配置の方針」を検討し、その案について住民説明会を開催し地域住民や保護者の意見を取入れ令和5年3月作成
-------------------	-----------------------	--

2 検討機関

学校統合検討委員会	R5. 6設置	構成員:小中学校教職員、保護者、地域住民代表者など
学校適正配置庁内検討委員会	H20.6設置	構成員:副市長、教育長、管理職など

3 選定の経過及び予定

建設候補地の選定基準		建設候補地の選定にあたり選定基準を、「立地環境」「教育環境」「整備環境」の3項目とする。
⇓	1. 立地環境に関すること	・土砂流入や洪水などの自然災害に対して安全性が高いこと ・地理地勢や自然景観など立地場所に優れていること
	2. 教育環境に関すること	・良好な日照が確保でき騒音が少ないなど、快適な教育環境を確保できること ・主要道路からのアクセスが良好で、安全な通学路を確保できること
	3. 整備環境に関すること	・用地造成、道路、上下水道等インフラ整備が容易であること ・立地により周辺の住宅住民や農地等に悪影響を及ぼさないこと
建設候補地の選定基準の精査、提案	選定基準	「立地環境」「教育環境」「整備環境」の3項目それぞれに選定基準を設定
⇓	建設候補地の提案	選定基準に則り、学校統合検討委員会及び学校適正配置庁内検討委員会より建設候補地を提案頂く
建設候補地の決定		提案頂いた候補地を選定基準に則するものとし、下記のとおり決定
⇓	建設候補地	候補地① :市民センター西側 候補地② :総合運動公園付近 候補地③ :平舘堀切地区 候補地④ :野駄森西側 候補地⑤ :野駄森南側 候補地⑥ :現西根中学校 候補地⑦ :大更駅東側(市道山子沢線南側)
建設候補地選定評価基準		建設候補地の選定のため、選定基準の見直しや新たな評価項目を設け、評価基準とする
⇓	評価基準(23項目)	1. 教育環境(立地等:7項目)(安全性等:6項目)に関すること: 13項目 2. 立地環境に関すること: 3項目 3. 整備環境に関すること: 7項目
建設候補地の意見聴取	7候補地について、評価基準などを示し委員会などから意見を頂く	
R6.10～12	・学校統合検討委員会 ・学校適正配置庁内検討委員会 ・西根中、西根一中、松尾中の学区毎の住民説明会	
⇓		
建設候補地の選定	上記の委員会などの意見や評価基準などを参考として下記委員会等から意見を頂きながら、建設候補地の絞り込みを行う	
R7.1～	・総合教育会議 ・学校統合検討委員会 ・学校適正配置庁内検討委員会	
⇓		
建設用地の決定	建設用地の適地(案)について、下記委員会等から意見を頂き建設用地とする	
R7	・総合教育会議 ・学校統合検討委員会 ・学校適正配置庁内検討委員会	

資料2-1

候補地	位置等	位置の特性	候補地 〇優位点 ・ ●課題
①	市民センター西側	市民センターの西側に位置し、周辺は田畑で良好な日照確保ができる。岩手山を眺望できる。	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○警察署・消防署が近接し、生徒の安全・安心が確保できる。 ●土地取得、農振解除、農地転用、開発許可が必要となる。 ●岩手山火山泥流区域となっている。 ※火山泥流：積雪時に火砕流が発生した場合、雪が解けて火山泥流が流れ下る危険性のある範囲
②	総合運動公園付近	総合運動公園の南側に位置し、周辺は田畑・山林で良好な日照確保ができる。岩手山が眺望できる	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○総合運動公園に隣接しており有効な利用が可能である。 ○国道282号線（バイパス）に隣接しておりスクールバス等自動車利用のアクセスが良好である。 ●土地取得、農地転用、開発許可が必要となる。 ●上下水道の整備区域外であり、浄化槽等の設置が必要となる。
③	平舘堀切地区	国道282号（バイパス）から県道岩手平舘線を約500m北上した場所に位置し、周辺は田畑で良好な日照確保ができる。岩手山が眺望できる。	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○十分な校地面積が確保でき、更に校地の拡張にも対応可能である。 ●土地取得、農振解除、農地転用、開発許可が必要となる。 ●遠距離通学の生徒の割合が増え、始業・終業時間、放課後や学校行事等に制約を受ける恐れがある。
④	野駄森西側	野駄森の西側に位置し、周辺は田畑で良好な日照確保ができる。岩手山を眺望できる。	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○十分な校地面積が確保でき、更に校地の拡張にも対応可能である。 ●土地取得、農地転用、開発許可等が必要となる。 ●遠距離通学の生徒の割合が増え、始業・終業時間、放課後や学校行事等に制約を受ける恐れがある。 ●隣接道路に歩道がなく、生徒の通学の安全確保が懸念される。
⑤	野駄森南側	野駄森の南側に位置し、周辺は田畑で良好な日照確保ができる。岩手山を眺望できる。	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○十分な校地面積が確保でき、更に校地の拡張にも対応可能である。 ●土地取得、農地転用、開発許可等が必要となる。 ●遠距離通学の生徒の割合が増え、始業・終業時間、放課後や学校行事等に制約を受ける恐れがある。 ●隣接道路に歩道がなく、生徒の通学の安全確保が懸念される。
⑥	現西根中学校	現在の西根中学校グラウンド西側（テニスコート付近）に新校舎を建設する。	○土地取得の必要がなく、早期の開校が可能である。 ○体育館、プールの再利用が可能である。 ○警察署、消防署、市立病院が近接し、生徒の安全・安心が確保できる。 ●校地面積に制限があり、良好な日照確保に一部制約がある。 ●建設工事により学校運営や生徒の安全配慮に影響が生じる恐れがある。 ●学校生活に建設工事の騒音・振動等の影響が生じる恐れがある。
⑦	大更駅東側	国道282号（バイパス）と市道山子沢線に隣接し、周辺は田畑・住宅地で良好な日照確保ができる。岩手山を眺望できる。	○新たな場所への建設であり、学校運営や生徒の学校生活に支障をきたすことはない。 ○市立病院に近接し、生徒の安全・安心が確保できる。 ○国道282号線（バイパス）に隣接しておりスクールバス等自動車利用のアクセスが良好である。 ●土地取得、農振解除、農地転用、開発許可が必要となる。 ●校地面積の確保に制限があり、学校建設へ制約が生じる恐れがある。

資料 2-2



No	大項目	項目	評価基準		
			◎	○	△
1	教育環境 (立地等)	教育方針や総合計画等に柔軟に対応するための敷地利用上の制約が少なく、効率的・効果的な校舎等配置が可能である	周辺に建物や障害物がなく、制約なく40,000㎡程度の用地を確保できる	周辺に建物や障害物がなく40,000㎡程度の用地は確保できるが、校舎等の配置に制限がある	周辺に建物や障害物があり、40,000㎡以上の用地は確保できない
2		校舎を南向きに配置できるなど良好な日照が確保でき、騒音が少ないなどの、快適な教育環境を確保できる	校舎を南向きに配置でき良好な日照が確保できる、周辺の騒音が比較的少ない	校舎を南向きに配置するなど日照確保に一部制約がある、多少の騒音が発生する	校舎を南向きに配置することが難しいなど良好な日照が十分に確保できない、騒音が大きい
3		教育活動から発生する音を騒音として、周辺から苦情等が来る可能性はないか	教育活動から発生する音に配慮する必要がない	教育活動から発生する音に場合により配慮する必要がある	教育活動から発生する音に配慮が必要である
4		生徒数の減少により生じている教育や学校運営上の諸問題を解決するとともに教育環境の整備や教育の質の向上を図るため、早期の開校が可能であるか	事業着手から概ね5年以内に開校できる	事業着手から概ね8年以内に開校できる	事業着手から概ね8年以内に開校できない
5		学校周辺(概ね2km以内)で課外活動やスポーツ等校外活動に利用可能な公共施設があるか	対象施設を下記の4ヶ所として、3ヶ所以上が2km以内である ・総合運動公園 ・アリーナまつお・B&G ・市立図書館 ・近接コミュニティセンター等	対象施設を下記の4ヶ所として、2ヶ所が2km以内である ・総合運動公園 ・アリーナまつお・B&G ・市立図書館 ・近接コミュニティセンター等	対象施設を下記の4ヶ所として、3ヶ所以上が2km以上である ・総合運動公園 ・アリーナまつお・B&G ・市立図書館 ・近接コミュニティセンター等
6		課外活動やクラブ活動等での移動手段として公共交通の利便性がある	JR花輪線の駅、路線バス停留所(県北・コミバス)が、いずれも2km以内にある	JR花輪線の駅、路線バス停留所(県北・コミバス)の、いずれかが2km以上にある	JR花輪線の駅、路線バス停留所(県北・コミバス)が、いずれも2km以上にある
7		小学校との連携が容易であるか	西根松尾地区小学校全校(8校)が6km以内にある	6km以内にある小学校が4校以上	6km以内にある小学校が4校未満
8	教育環境 (安全性等)	スクールバスの利用率が少なく、現在のスクールバス運行台数で可能であること 【現在の運行台数】 ・西中2台(20人) 1台は大更小と兼用 ・一中1台(1人) 寺田小と兼用 ・松中4台(29人) 2台松野小、2台寄木小と兼用	運行見込台数7台以下であり、スクールバス利用率が50%未満である	運行見込台数7台以下であるが、スクールバス利用率が50%以上である	運行見込台数8台以上である
		【参考】徒歩通学が可能な生徒数・生徒率	※スクールバス利用見込以外の生徒数		
		徒歩・自転車の安全な通学路が確保でき、負担が少ないこと	周辺に歩道が整備されており、標高差が少なく徒歩・自転車通学の負担が少ない	周辺の一部に歩道が整備されており、標高差が少なく徒歩・自転車通学の負担が概ね少ない。	周辺に歩道が整備されていなく、標高差が大きく徒歩・自転車通学の負担が大きい
		主要道路からのアクセスが良好で、スクールバスなどの送迎車両等の出入りが容易である。	主要道路からのアクセスが良く、バス等の出入りが容易である	主要道路からのアクセスが概ね良く、バス等の出入りは可能である	主要道路からのアクセスが良くなく、バス等の出入りはよくない
		学校生活における生徒の安全・安心の確保ができるか	警察、消防署、病院までの距離がいずれも2km以内にある	警察、消防署、病院までの距離が1ヶ所が2km以内にある	警察、消防署、病院までの距離が2ヶ所以上が2km以上ある
		工事期間中の学校運営への影響や生徒への安全配慮が可能であるか	新たな場所への建設であり学校運営への影響がなく、安全に配慮する必要がない	学校敷地内であるが学校運営への影響がなく、安全への配慮は可能である	学校敷地内であり学校運営に影響があり、十分な安全の配慮ができない
		工事期間中の工事や工事車両等の騒音・振動等が学校生活に影響がないか	新たな場所への建設であり、工事期間中の騒音・振動等の影響がない	学校敷地内であるが、工事期間中の騒音・振動等の対策は可能である	学校敷地内であり、工事期間中の騒音・振動等の影響がある
14	立地環境	土砂流入や洪水などの自然災害に対して、安全性が高いこと	土砂災害等警戒区域、ため池マップに該当なし	土砂災害等警戒区域、ため池マップに一部該当あり	土砂災害等警戒区域、ため池マップの大部分に該当あり
15		災害時の避難場所等としても活用できること	災害のリスクが極めて少ない	災害のリスクが少ない	災害のリスクがある
16		地理地勢や周辺景観など、立地場所として優れていること	土地の高低差がなく、周辺環境も快適である	一部土地の高低差がある、または一部周辺景観が快適でない	土地の高低差が大きい、または周辺景観が快適でない
17	整備環境	地権者同意など、土地取得が容易であると見込まれること	地権者が少なく、死亡者や転出者を含まない	地権者が10人以上で、死亡者や転出者も含む	地権者が15人以上で、死亡者や転出者が多い
18		用地造成、道路、上下水道等のインフラ整備が容易であること	用地造成の必要がなく、インフラ整備が容易である	用地造成の必要があり、インフラ整備は容易ではないが可能である	用地造成の必要があり、インフラ整備は容易ではない
19		土地規制の許可が得られる土地であること	土地規制の許可が容易である	土地規制の許可手続きが必要である	土地規制の許可手続きが必要で、容易ではない
20		埋蔵文化財等、地下に支障となる構造物がないこと	いわて遺跡地図に該当なし、近辺に埋蔵文化財なし	いわて遺跡地図に該当なし、近辺に埋蔵文化財あり	いわて遺跡地図に該当あり
21		立地により、周辺の住宅住民や農地等に悪影響を及ぼさないこと	周辺に悪影響を及ぼす可能性はほぼない	周辺に悪影響を及ぼす可能性が多少ある	周辺に悪影響を及ぼす可能性がある
22		建設工事費 ※ 類似中学校建設工事費を参考に積算	既存施設の利用が見込まれ建設工事費の抑制が可能である	積算のとおり	学校建設費以外に付帯工事(取付道路等)が見込まれる
23		土地区画整備等の公共投資があった土地であるかどうか	公共投資なし	公共投資はあるが影響なく取得可能である	公共投資があり、補助金返還等取得に条件がある

			① 市民センター西側	② 総合運動公園付近	③ 平舘堀切地区	④ 野駄森西側	⑤ 野駄森南側	⑥ 現西根中学校	⑦ 大更駅東側 (市道山子沢線南側)								
NO	大項目	項 目	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容			
1	教育環境 (立地等)	教育方針や総合計画等に柔軟に対応するために敷地利用上の制約が少なく効率的・効果的な校舎等配置が可能である	◎	面積は確保できる	◎	面積は確保できる	◎	面積は確保できる	◎	面積は確保できる	○	面積は確保できる	△	35,000㎡程度の用地面積は確保できるが、それ以上は難しい			
2		校舎を南向きに配置できるなど良好な日照が確保でき、騒音が少ないなどの、快適な教育環境を確保できる	◎	良好な日照確保ができる 騒音を感じるほどの交通量ではない	◎	良好な日照確保ができる 騒音を感じるほどの交通量ではない	◎	良好な日照確保ができる 騒音を感じるほどの交通量ではない	◎	良好な日照確保ができる 騒音を感じるほどの交通量ではない	○	日照確保に一部制約がある 騒音を感じるほどの交通量ではない	◎	良好な日照確保ができる 騒音を感じるほどの交通量ではない			
3		教育活動から発生する音を騒音として、周辺から苦情等が来る可能性がない	◎	音に配慮する必要がない	◎	音に配慮する必要がない	◎	音に配慮する必要がない	◎	音に配慮する必要がない	○	周辺は住宅地であり、場合によっては音に配慮する必要がある	◎	音に配慮する必要がない			
4		生徒数の減少により生じている教育や学校運営上の諸問題を解決すると共に、教育環境の整備や教育の質の向上を図るため早期な開校が可能か	○	事業着手から概ね8年程度	○	事業着手から概ね8年程度	○	事業着手から概ね8年程度	○	事業着手から概ね8年程度	◎	事業着手から概ね5年程度	○	事業着手から概ね8年程度			
5		学校周辺で課外活動やスポーツ等校外で利用可能な公共施設があるか (総合運動公園、アイーナまつおB&G、市立図書館、近接コミセン等までの距離)	◎	3ヶ所が2km以内である	○	2ヶ所が2km以内である	△	3ヶ所が2km以上である	△	4ヶ所が2km以上である	△	4ヶ所が2km以上である	○	2ヶ所が2km以内である	○	2ヶ所が2km以内である	
6		課外活動やクラブ活動等での移動手段として公共交通の利便性がある (JR花輪駅、バス停留所までの距離)	◎	2ヶ所が2.0km以内である	○	1ヶ所が2.0km以内である	◎	2ヶ所が2.0km以内である	△	2ヶ所が2km以上である	△	2ヶ所が2km以上である	◎	2ヶ所が2.0km以内である	◎	2ヶ所が2.0km以内である	
7		小学校との連携が容易である (近接小学校)	○	田頭小、大更小	○	平舘小、大更小	○	平舘小、寺田小	○	寄木小、田頭小	○	寄木小、田頭小	○	大更小、田頭小	○	大更小、田頭小	
8	教育環境 (安全性等)	スクールバス利用生徒数・利用率 ・小学校1～3年生児童数:353人(6.7.31現在) ・建設予定地～小学校までの距離で積算	◎	・利用数:146人 ・利用率:41.6% ・スクールバス台数:6台	○	・利用数:182人 ・利用率:51.6% ・スクールバス台数:6台	△	・利用数:241人 ・利用率:68.3% ・スクールバス台数:8台	△	・利用数:265人 ・利用率:75.1% ・スクールバス台数:9台	△	・利用数:265人 ・利用率:75.1% ・スクールバス台数:9台	◎	・利用数:133人 ・利用率:37.7% ・スクールバス台数:5台	◎	・利用数:147人 ・利用率:41.6% ・スクールバス台数:5台	
		【参考】近距離生徒数・生徒率		徒歩通学生徒:207人 徒歩通学生生徒率58.6%		徒歩通学生徒:171人 徒歩通学生生徒率48.4%		徒歩通学生徒数:112人 徒歩通学生生徒率:31.7%		徒歩通学生徒数:88人 徒歩通学生生徒率:24.9%		徒歩通学生徒数:88人 徒歩通学生生徒率:24.9%		徒歩通学生徒数:220人 徒歩通学生生徒率:62.3%		徒歩通学生徒数:206人 徒歩通学生生徒率:58.4%	
9		徒歩・自転車の安全な通学路が確保でき、負担が少ない	◎	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	◎	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	◎	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	○	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	○	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	◎	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	◎	周辺道路に歩道が整備されている 標高差は50m以内	
10		主要道路からのアクセスが良好で、スクールバスなどの送迎車両等の出入りが容易である。	◎	隣接道路:県道浜民田頭線 車両等の出入りは容易である	◎	隣接道路:国道282号線 車両等の出入りは容易である	○	隣接道路:県道岩手平舘線 車両等の出入りは場合により拡幅する必要がある	△	隣接道路:市道平舘裏佐森線 市道幅員が狭いため車両等の出入りは容易でない	△	隣接道路:市道平舘裏佐森線 市道幅員が狭いため車両等の出入りは容易でない	◎	隣接道路:県道浜民田頭線 車両等の出入りは容易である	◎	隣接道路:国道282号線 車両等の出入りは容易である	
11		学校生活における生徒の安全・安心の確保ができるか (警察署、消防署、病院までの距離)	◎	2ヶ所以上が2km以内である	◎	3ヶ所がいずれも2km以内である	△	すべてが2km以上である	△	すべてが2km以上である	△	すべてが2km以上である	◎	3ヶ所が2.0km以内である	○	1ヶ所が2.0km以内である	
12		工事期間中の学校運営への影響や生徒への安全配慮が可能であるか	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	△	学校運営に影響があり十分な安全配慮ができない	◎	学校運営等への影響はなく、安全配慮の必要がない	
13		工事期間中の工事や工事車両の騒音・振動等の影響はないか	◎	騒音・振動等の影響はない	◎	騒音・振動等の影響はない	◎	騒音・振動等の影響はない	◎	騒音・振動等の影響はない	◎	騒音・振動等の影響はない	△	騒音・振動等の影響を生じる恐れがある	◎	騒音・振動等の影響はない	
14	立地環境	土砂流入や洪水などの自然災害に対して、安全性が高いこと ・土砂災害等警戒区域・過去浸水区域 ・ため池・岩手山火山泥流区域	○	岩手山」火山泥流区域である	◎	該当なし	◎	該当なし	◎	該当なし	◎	該当なし	○	土砂災害等警戒区域に一部該当	◎	該当なし	
15		災害時の避難場所等としても活用できること	◎	避難場所として活用できる	◎	避難場所として活用できる	◎	避難場所として活用できる	◎	避難場所として活用できる	◎	避難場所として活用できる	◎	周辺の指定避難所である	◎	避難場所として活用できる	
16		地理地勢や周辺景観など、立地場所として優れていること	◎	周辺は田畑、山林で岩手山を眺望できる	◎	周辺は田畑、山林で岩手山を眺望できる	◎	周辺は田畑で岩手山を眺望できる	◎	周辺は田畑で岩手山を眺望できる	◎	周辺は田畑で岩手山を眺望できる	◎	人口密集地であり徒歩通学の生徒が多い	◎	周辺は住宅地が岩手山を眺望できる	
17	整備環境	地権者同意など、土地取得が容易であると見込まれること	○	地権者:10人程度	○	地権者:9人程度	○	地権者:10人程度	△	地権者:16人程度	○	地権者:11人程度	◎	用地はすべて市有地	○	地権者:9人程度	
18		用地造成、道路、上下水道等のインフラ整備が容易であること	○	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:周辺に管有り 下水道:公共下水	△	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:周辺に管なし 下水道:周辺に管なし	○	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:周辺管あり 下水道:農集エリア	○	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:周辺管あり 下水道:農集エリア	○	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:周辺管あり 下水道:農集エリア	◎	用地造成:不要 接続道路:不要 上水道:不要 下水道:不要	◎	用地造成:要 接続道路:不要 上水道:不要 下水道:不要	
19		土地規制の許可が得られる土地であること	○	開発許可:要 林地開発:不要 農振解除:要 農地転用:要	○	開発許可:要 林地開発:要 農振解除:要 農地転用:要	○	開発許可:要 林地開発:不要 農振解除:要 農地転用:要	○	開発許可:要 林地開発:不要 農振解除:要 農地転用:要	○	開発許可:要 林地開発:不要 農振解除:要 農地転用:要	◎	開発許可:不要 林地開発:不要 農振解除:不要 農地転用:不要	○	開発許可:要 林地開発:不要 農振解除:要 農地転用:要	
20		埋蔵文化財等、地下に支障となる構造物がないこと	○	遺跡地図:該当なし 試掘調査:要	○	遺跡地図:該当なし 試掘調査:要	○	遺跡地図:該当なし 試掘調査:要	△	遺跡地図:周辺に遺跡有 試掘調査:要	△	遺跡地図:周辺に遺跡有 試掘調査:要	◎	遺跡地図:該当なし 試掘調査:不要	○	遺跡地図:不要 試掘調査:要	
21		立地により、周辺の住宅住民や農地等に悪影響を及ぼさないこと	◎	悪影響はほとんどない	◎	悪影響はほとんどない	◎	悪影響はほとんどない	◎	悪影響はほとんどない	◎	悪影響はほとんどない	◎	現在問題は発生していない	◎	悪影響はほとんどない	
22		建設工事費	○	約40億円	○	約40億円	○	約40億円	○	約40億円	○	約40億円	◎	約30億円	○	約40億円	
23		土地区画整備等の公共投資があった土地であるかどうか	○	改良区受益地区画整備実施済	◎	該当なし	○	改良区受益地区画整備実施済	◎	該当なし	○	改良区受益地区画整備実施済	◎	該当なし	○	改良区受益地区画整備実施済	
			◎	14		13		11		10		9		15		13	
			○	9		9		9		6		8		6		9	
			△	0		1		3		7		6		2		1	